

2015.6.8(月)

# よりそう

第222号

編集責任:三好

## 今回の活動を通して。

三好 将二

5/26(火)～6/7(日)の13日間、遠野まごこ3ネットに滞在し、活動した。この間に感じた事を記し、提案もしたい。半年に1回位しか来れないで状況把握がまちがっているかも(れど)。それは、今後これまでボランティアの方や事務局で修正して下さい。

① ひとと遠野まごこ3ネット災害救援ボランティアセンターにて出発したことは周知の事ですが、私が思うには2013年頃から復興支援ボランティアセンターの性格が強く出ていて、この変化をHPにも強く打ち出しています。(現在のまごこ3ネットはHPを新しくすることを技術者がいなくて、部分修正しかできないのだそうです。)(外注すると当然費用がかかるのです。)

② 現在は持続したボランティア世話役がいるので事務局スタッフがV.Cの生活のルールを説明している。P.ボランティアセンター(V.C)の生活のルールを記してそれを準備し、必ず手渡す。

1. 現状は、こんな点を重点にして活動しています。  
2. ルール違反はV.C退去を求め子事もある。等をきちんと事務局スタッフに個別に個人に伝える。  
(2011, 2012は世話役が経験してあるが、2013年)

③ 起床6:30～就寝22:00をきちんと守ってもらう。

(これは、2011, 2012年は朝礼が7:30だったので、6:00起床だったが現在は朝礼は8:00なので、変わった。)高令者は朝の目覚めが早い方は、静かに起きて就寝室から出られ、食事をするスペースあります(でもう)。なお、この22:00～6:30の間、荷物、とくにビニール袋にさわらない。携帯電話は

音がすごく高い!!

④ 中途半端が一番危ない! それがV.Cの生活は崩れる。

電源を切るが、マーチードにする。

④ 掃除:ボランティア1人でも場所を指定して掃除をこなす。例えばゴミ箱だけでもう、

消面所のまじめうとか。2人以上あれば、一日毎に場所を分けてもらこう。大人数の時は、センター内を事務局・物置置場・道具置場以外(でもう)。當時、掃除していくがたようだ。特にキッズの汚れが目立ったと言われた。(6/5金、4人で掃除(玉置、キッズ担当させ玉置ボランティアエンの話)トイレは意外に清潔さが保たれていた。

⑤ ビズの位置づけ:今回、ビズは着用しないが、私一人だけ。かつて、ビズは“忘れていませんよ、被災者のみなさん”というアピールの意味が強かった。しかし、現在(2015年6月)は、大槌・釜石両就労支援センターの方々とも共同作業するので現場の雰囲気上合わない事、地域の人々と一緒にやろうとする場合もビズが付けて重荷をつくり、気安く入って山林に入らうとする現状に合わせ、完全に廃止された(どうが)。

⑥ ミーティングの位置づけ:元々、ミーティングはボランティアの交流が主目的だ(2011年4月24日開始)。当時、活動しても、ほとんど交流なく散策した。山では、何の活動をして、何で山へ来たのか、来動機を今がうづじまいで、もたないとい、という事が始めたのである。

ミーティングのもう一つの目的は、ボランティアの声と事務局に反映する、という事だ。ところが現状は一時期(5月廻り休、8月中旬～9月上旬、12/24.25.26)を除けば

ボランティアは一歩が正例的に多いです。それなら、活動の往復時に事務局スタッフがいい匂い(?)のことで、その時に聞く事が可能である。ミーティングは多人数の時で、その時に聞く事が可能である。おお宣傳して、他の時は

⑦ 試みに大槌ハーフの郷のハウス内に仕切りを入れて男女の居室にし、釜石駅までワゴン車で送迎などいう事をしてはどうでしょうか。但し、シャワー室を1台大槌へ引越す必要がある。水道が来てないるので汲み上げポンプでシャワーが可能かどうかである。遠野のV.Cは家庭を見

釣り利用にはなってない)と思う。V.Cの位置を変考えてみれば、いかがでしょうか。(大槌町には現在風呂がない)

天気

気温高

低

降水確率

%

完全に廃止する事務局の見通し